

平成21年6月定例議会

一般質問

★町長の所信について。

ぬくもりのある安全で安心して暮らせるまちづくりが大きな施策です。コミュニティを大切にした地域づくりが必要であり、ともに学び助け合うことが福祉あるいは活性化につながり、一つの集落が生き返ると考えます。町民が町民のために何をやっていくのかを話し合い、施策を構築し、行動し、展開する、その実績を共有し、反省し、次に移す、その繰り返しですが地を支え、育てていきます。安全で安心な食材を消費者に提供して産業を活性化させること、子どもたちが都会から戻ってくる、鏡野町を求めて住みたい人がやってくる、これが2期目の私に託された仕事であるという思いです。

★高齢者福祉の政策についてどのように考えているか。

高齢者福祉は「住みなれた地域で、誰もが安心して暮らせるまちづくり」を基本理念に、「健康づくり・介護予防事業の推進」「認知症高齢者への支援」等を盛り込んでいきます。医療費の無料化は、後期高齢者医療制度が始まり、逼迫する財政状況から見て、この制度の根幹を揺るがすため、するべきでないと考えます。在宅介護者の病気等の対策は、一時入所制度やホームヘルパーの派遣制度があります。介護支援専門員（ケアマネージャー）にご相談いただくか、福祉課内にあります地域包括支援センターで相談を受けていますので、ご活用ください。

入所施設の対策は、年次毎に介護保険事業計画に沿って整備を進めています。

★放課後児童クラブについて。

1小学校区で5人以上の要望のあるところから順次整備を進めています。上齋原小学校区では学童保育を、南小学校区と香々美小学校区では放課後児童クラブを開設しています。本年度は、大野小学校敷地内での開設に向けて、工事を予定しています。現在教育委員会では、各小学校敷地内での「放課後子どもプラン」を策定中です。

★中学校の統合を今後どのように取り組むのか。

奥津中学校を平成22年度目途に、上齋原中学校と富中学校は近い将来、鏡野中学校に統合します。6月1日に奥津地区、17日に上齋原地区、22日に富地区の説明会を、そして早い時期に2回目を開催します。中学校統合検討委員会でアンケートを実施して課題を明らかにし、統合の方策をまとめ

ました。奥津中学校に上齋原中学校と富中学校を統合して、町内2校とする案も出しましたが、昭和42年建築の奥津中学校は、昭和47年建築の旧鏡野中学校の耐震診断の結果から改築が予想されます。それには多額の

経費が必要となり、現在の町財政状況からは困難です。奥津中学校の耐震面での危険性と、上齋原と富の通学時間が約1時間、冬場の道ではさらに時間がかかることを考慮した結果、奥津はスクールバスによる通学が30分程度で可能ということから出された、この答申を尊重して推進します。跡地利用は白紙であり、皆さんと検討します。

★火災報知機設置への補助金について。

既に設置されている方に不公平が生じたり、行財政改革の中にあつて、新たな補助金の設置は困難です。津山地区農業共済事務組合が60周年を迎え、煙感知式の報知器2台を記念品として、加入世帯（町内約7割）へ配布する準備が進んでい

ます。未設置の家庭には、消防団が設置に向けての対応を検討しています。

★主線バス路線への交通アクセスについて。

町民全てのニーズにお応えして接続するには、早朝から福祉バスの運行をしなければならず、経費的なことから対応できないことをご理解ください。今後、ニーズにあつた改善を図るよう努力します。

★町民バスと福祉バスの一体化、地域間運行と、乗合タクシーの導入について。

現在の路線を基本に、福祉バスを町営バスとして運行し、全ての地域でバスの有料化を進める計画です。しかし現在の路線では、役場や町立病院へ乗り継ぎなしに行ける状況でないため、有料化になると、料金的には公平であっても、ニーズ的には更に不公平感を募らせる結果となります。今後、町中心部への足を確保し、国道幹線を運行している中鉄北部バスと協議して、地